

メーカー	Mercedes Benz
タイプ	W100 600
年式	1,972
全長(mm)	5,540
全幅(mm)	1,951
全高(mm)	1,486
重量(kg)	2,475
エンジン	V型8気筒 SOHC
排気量(CC)	6,332
馬力(hp)	250

ダイムラー・ベンツは**1963年9月に開催されたフランクフルト・ショー**において、同社のラインナップの頂点に位置し、戦前ごく少数が生産された「グロースー・メルセデス」の再来ともいえるショーファードリブン（VIP等に乗せ、専門の運転手が運転するような高級車のことを指す）「メルセデス・ベンツ600」(W100型)を発表しました。巨大な高級・高性能車で、「特別な顧客のための特別なモデル」として完全受注方式がとられました。

巨大なボディに時代の先端を行く快適・豪華装備が備わり、基本設計に変更のないまま**18年**に渡り生産が続けられました。

ボディタイプは、ショートホイールベース4ドア仕様の「リムジーン」とロングホイールベース4ドア/6ドア仕様の「プルマン」、そしてプルマンをベースにしたオープンモデル「ランドーレット」の3タイプが用意されました。スタイリングは、デコレーションを排した直線基調のプレーンなフォルムと、同社独自の縦型ヘッドランプが特徴でした。

最高速度は200キロオーバーの高性能。

駆動方式は同社の他のモデルと同様FRで、エンジンはこのモデルの為に**新開発された6.3L V8SOHC**・ボッシュ機械式燃料噴射仕様（最高出力250ps/最大トルク51kgm）が搭載されました。トランスミッションは4速トルコン式ATが組み合わせられ、最高速度はリムジーンで205km/h、プルマンでも200km/hに達する高性能を発揮しました。

ブレーキは4輪ディスク式で、タイヤは9.00×15というファットなサイズが装着されました。又、リサーキュレーティング・ボール式のステアリングには、パワーアシストが採用されました。快適装備としては、油圧バキューム式によるパワーウィンドウ、集中ドアロック、オートクローザー付ドア、自動開閉式トランクリッド、パワーシート、サンルーフの他、前後席独立式のアアコンが採用されました。

販売は1981年6月まで継続され、その間にリムジーンが2,190台、プルマンが428台生産されました。

当社の梁瀬次郎元社長が愛用していた車両で、現在に至るまで動態保存されています。

**【ヤナセ保有車両】**